

平成28年度 第8回教育研究評議会議事要録

- 日時 平成28年12月8日(木) 14:00～16:40
- 場所 事務局第1会議室
- 出席者 三村学長, 尾崎理事, 太田理事, 袖山理事, 影山理事, 米倉副学長, 佐川人文学部長, 生越教育学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長, 久留主農学部長, 木村全学教育機構長, 高橋図書館長, 田中評議員, 蓮井評議員, 小野寺評議員, 田内評議員, 吉田評議員, 増澤評議員, 伊藤評議員, 中石評議員, 後藤評議員
- 欠席者 荒川評議員
- 陪席者 増子監事, 中庭監事, 泉岡副学長, 栗原学長特別補佐, 横木学長特別補佐, 鈴木学長特別補佐, 内田学長特別補佐, 原口学長特別補佐, 羽瀧学長特別補佐, 大塚執行部スタッフ, 総務部長, 財務部長, 学務部長, 学術企画部長, 総務課長, 大学戦略・IR室副室長, 広報室副室長, 国際戦略室副室長, 地方創生推進室副室長, 労務課長, 財務課長, 契約課長, 学務課長, 企画課長, 各学部事務長

議 題

審議事項

- 1 茨城大学地球変動適応科学研究機関規程の一部改正について
- 2 中華人民共和国華東師範大学と日本国茨城大学との間における大学間協定および大学間覚書について
- 3 名誉教授選考基準等の見直しについて
- 4 財務改善の基本方針(案)について
- 5 その他

報告事項

- 1 平成27年度に係る業務の実績に関する評価の結果について
- 2 インドネシア共和国農業省農業研究開発庁と日本国茨城大学(農学部)との学部間交流締結について
- 3 iOPクォーターに関する意見交換会について
- 4 ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)茨城大学キックオフシンポジウムについて
- 5 プリントチケットシステムについて
- 6 茨城大学の情報環境等のご案内とお願いについて
- 7 工学部・理工学研究科(博士前期:工学系)の改革について【中間報告】
- 8 平成28年度茨城大学「人を対象とした研究に関する倫理研修会」の開催について
- 9 その他
・茨城大学修学支度金制度について

議 事 概 要

I 審議事項

- 1 茨城大学地球変動適応科学研究機関規程の一部改正について
学長から、審議願いたい旨の提案があり、尾崎理事及び企画課長から資料1に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 2 中華人民共和国華東師範大学と日本国茨城大学との間における大学間協定および大学間覚書について
学長から、審議願いたい旨の提案があり、尾崎理事から資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 3 名誉教授選考基準等の見直しについて
学長から、審議願いたい旨の提案があり、労務課長から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 4 財務改善の基本方針（案）について
学長から、審議事項としているが、財務改善の基本方針について説明の上議論の場としたい旨の提案があり、学長及び財務課長から資料4に基づき説明があった。

【主な意見】

- 今の時期に第3期の財務状況を示されること、また、このような財務状況になる要因はどのようなことか。
- 前年度と比較すると今年度は緊縮財政であり、今年度の執行状況などを踏まえたうえで第3期における支出見込みを算出し、それに基づく財務見通しを立て、財務改善の基本方針を策定した。
- 人件費の削減とあるが、どのようなことか。
- 財務改善タスクフォース（以下TF）や全学人事委員会において、具体的に議論される課題である。
- 財務改善の基本計画は理解出来るが、本来であれば第2期末に示されるべきではないか。
- 様々な状況を踏まえたうえで、現在の段階で財務改善の基本方針を策定する必要がある。
- 一部の職員に過度の業務負担が見受けられるので、慎重に検討していただきたい。
- 業務の仕方や整理、事務組織の見直しなどを含めて検討する。
- 支出を減少させるためには、先に光熱水料などの見直しをした後に、人件費を削減するべきではないか。また、執行部の業務体制の見直し、ダウンサイジングとはどのようなことか。
- 経費節減など出来ることは全て行うが、基盤的経費の80%が人件費である状況であるため、手当等から削減をしていくことを想定している。また、執行部の業務の見直しをして縮小させ、併せて室・センター等を統廃合することにより合理化を図る。さらにTFの議論になるが、授業科目の精選や教員組織の見直しなどを検討する。
- 財務改善ワーキンググループ（以下WG）の人選、スケジュール、議論の方向性などについてどのようにすべきか。
- 財務改善の原案を作成するためにWGを設置した。事務だけで作成できるものもあるが、学部の教員の人事に関する事など、事情が分かる教員を人選していただきたい。なお、WGは週に2～3回程度、TFは年内中に開催する予定である。
- 若手教員への影響が懸念される。
- 全体的に削減、負担増のイメージであるので、メリハリのある取組みを分

かりやすく示すことが大事であり、全学的な協力体制の仕組み作りを示していただきたい。

II 報告事項

- 1 プリントチケットシステムについて
羽渕学長特別補佐から、資料9に基づき報告があった。
- 2 工学部・理工学研究科(博士前期：工学系)の改革について【中間報告】
馬場工学部長から、資料11に基づき報告があった。
- 3 その他
 - ・学務部長から、茨城大学修学支度金制度について報告があった。
 - ・馬場工学部長から、入学時に係る納付金の徴収方法について質問があり、学務課長、袖山理事及び太田理事から報告があった。
 - ・企画課長から、平成28年度茨城大学「人を対象とした研究に関する倫理研修会」の開催時間変更について報告があった。

III 監事からの意見

- ・財務改善の基本方針（案）について、財務課を中心に短期間で真摯にまとめていただいた。これらを完全に実行することは困難なところもあると思われるが、今後の財務見通しが大変厳しい現状から見れば基本方針を中心に議論を進め、具体的な対策を早急に打っていただきたい。このまま行けば様々な増収策を打ったとしても、収入が減り続ける危機的な状況に変わりはなく、そのためには事務事業を徹底的に見直す、不必要な業務を減らす、さらに事業費の一層の削減を実行する。具体的には、来年度の予算について、原則として5%程度のシーリングをかける。ただし、個々によっては要検討するものもある。また、これだけでは十分でなく、収入に見合った組織、教職員数などを見直して、さらに不足するのであれば、給与にも手を付けていく必要があると思われる。そこまで覚悟を決めてかからなければならない。大学改革の正念場であり、身を切る覚悟で基本方針にあるように体質改善、機能強化に繋げて行くことが大切である。そのためにTFの中で十分議論をしていただき、大学の英知を結集して本学のあるべき姿に向けた具体的な取組みに繋げていただきたい。このような取組みは、1年遅ればさらに回復する時間がかかるので、出来るものから早速取り組んでいただき、早めに目標に到達できるような取組みをしていただきたい。
- ・財務改善の基本方針（案）について、これまで5回ほど各会議へ陪席してきたが、その中で出てきた疑問それぞれに答える資料が出されており、大学の置かれている状況が良くわかるものになっている。財務課長をはじめ事務職員の大変な努力があったと思われる。議論はまだまだ始まったばかりであり、今後、全学の共通理解を得るためには情報公開が重要である。疑問が払拭できるように情報を提供しながら議論を進めていくことが大事であり、今後も努力していただきたい。今までの議論の中に出ていたが、大学改革の中で組織が増え、業務の重複があることも事実である。大学改革の最大の山場であるが、これを乗り切っていただきたい。メリハリを付けて本学の強みを出せるように、機能改善に繋がる議論を期待する。

IV その他

教育研究評議会会議資料の公開について

学長から、資料の公開について、以下のとおり確認があった。

非公開：資料3，資料4　それ以外は全て公開する。

次回 教育研究評議会開催

1月12日（木） 14時00分から